様式第２⑵（第19条関係）

＜記入例＞

令和○年○月○日

島根県知事　又は　○○市長　様

 島根県松江市殿町１

　　　　　　　　　　　　　　　　　有限会社　　　景観商店

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役社長　公園　太郎

特別地域内木竹伐採許可申請書

島根県立自然公園条例第11条第４項の規定により、○○県立自然公園特別地域内における木竹の伐採の許可を受けたく、下記のとおり申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 目　的 | 更新伐及び木竹の集積・搬出を行うための林業機械道開設 |
| 行為地 | 島根県◆◆市○○町大字××字▲▲００番地 | 地目 | 山林 |
| 林　況 | 林種 | 雑木林 |
| 樹種 | ブナ |
| 林齢 | ５５年（５０～６０年） |
| 森林全面積 | １１ｈａ |
| 総蓄積（ａ） | ５，０００㎥ |
| 行為地及びその付近の状況 | 行為地は○○○に位置する。指定植物のヤマツツジが行為地内に生育している。 |
| 施行方法 | 伐採種別 | 皆伐 |
| 伐採面積 | ５ｈａ |
| 伐採樹種 | ブナ |
| 平均樹齢 | ５５年（５０～６０年） |
| 平均胸高直径 | ３０ｃｍ～５０ｃｍ |
| 伐採材積（ｂ） | ５，０００㎥ |
| 伐採材積歩合（ｂ/ａ） | １００％ |
| 関連行為の概要 | ①残土の発生　　　なし②法面保護　　　　【切土】 切土高が最高で2.0ｍ程度で、自然な緑化が見込めるため、吹付け等は行わない。 【盛土】 掘削した表土を法面部分に張り付け、緑化を促す。③土砂流出防止措置雨水等による流出を防ぐため、路面勾配や湧水状況等を考慮の上、横断溝等により分散排水を徹底する。 |
| 伐採跡地の取扱い | 天然更新 |
| 予定日 | 着　　　　　手 | 令和○年○月○日（ただし、許可の日以降） |
| 完　　　　了　　　 | 令和○年○月○日 |
| 備考 | ・土地所有者：○○森林組合（承諾済み）・森林法第○条の規定に基づき届出済み・保全すべき動植物は確認されていないが、希少な野生動植物の生息・生育が確認された場合は適切な保全対策を講じる。・担当者：○○市　○○係　○○　　　　　〒　住所　　　　　電　話：　　　　　　ＦＡＸ：　　　　　E-mail： |

備考

１　添付図面

⑴　行為地を明らかにした縮尺25,000分の１程度の地形図

⑵　行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺5,000分の１程度の概況図及び天然色写真（カラー写真）

⑶　その他行為の施行方法の表示に必要な図面

２　留意事項

⑴　申請文の「　　　　県立自然公園」の箇所には、当該県立自然公園の名称を記入すること。なお、不要の文字は抹消すること。

⑵　「行為地」欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入すること。

⑶　「林種」欄には、針葉樹林、広葉樹林、混交林の別及び天然林、人工林の別を記入すること。

⑷　「樹種」欄には、主な樹種を記入すること。

⑸　「伐採種別」欄には、皆伐、単木択伐、塊状択伐等の別を記入すること。

⑹　「関連行為の概要」欄には、索道及び林道の敷設、貯木場の設置（面積並びに切土及び盛土量等を含む。）並びに残土量及びその処理方法等申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入し、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

⑺　「伐採跡地の取扱い」欄には、伐採後の植栽計画（年次、樹種、施行方法等）等を記入し、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

⑻　「備考」欄には、次の事項を記入すること。

ア　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続の進捗状況

イ　土地所有関係。申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否の状況

ウ　過去に島根県立自然公園条例の許可を受けたものである場合は、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件

エ　当該申請に関する連絡先（電話番号又はメールアドレス）。申請者と担当者とが異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等

⑼　学術研究その他の公益上必要なもの、地域住民の日常生活の維持のために必要なもの、病害虫の防除、防災、風致維持その他の森林の管理として行われるもの又は測量のために行われるものを記載すること。ただし、第３種特別地域における森林施業以外の木竹の伐採を目的として申請する場合には、「林況」の代わりに「行為地及びその付近の状況」欄を記載し、「施行方法」については、「伐採樹種」欄、「伐採面積」欄、「関連行為の概要」欄及び「伐採跡地の取扱」欄を記載することで足りるものとする。

⑽　申請書の用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。